

さやまの昔ばなし

21

このコーナーでは、昔から市内で語り継がれている言い伝えなどを、池原さん流の描画で紹介します。



題字・絵・文／池原昭治氏

おじいさんとキツネ
昔、柏原の下宿にたいさう気の強いおじいさんがすんでいました。ある日、智光山へキノコを採りにいったそうです。「このキノコは、せいぶつあじのものだべし」と、欲張ってどどい杯の奥へ入ってキノコを竹籠いっぱい採ったころは、すっかり陽を傾いていました。帰りをいそぎましたが歩けども歩けども、林から抜け出せませぬ。疲れはたつたおじいさんは林の中へたりこんでしまいました。やがて朝になり驚きまじった。なんと、自分のつら座を、さまよい歩いていたのだとした。これは智光山にすむキツネどのの仕業だったろう。その後、おじいさんは一人歩きをじなくなりました。

池原さんのプロフィールやほかの作品はこちら▼



編集後記

この4月の人事異動で、新たに広報さやまの編集メンバーに加わるようになりました。これから読者の皆さんに、情報を分かりやすく伝えていきたいと思っています。

初取材は市民交流センターの中にオープンした「^{サヤ}Saya Market&Cafe」。

狭山のアンテナショップと銘打って、狭山茶をはじめ、市内企業で製造されている商品などを取りそろえています。また、併設のカフェでは、狭山茶を使ったさまざまなメニューが用意され、気軽に狭山茶を楽しんでいただけます。市内にお住まいの方にも、狭山市を訪れた方にも楽しんでもらえるスポットになると感じました。

そして、狭山市駅西口市民広場も多くの市民の皆さんが集いやすい場所になるよう、マルシェなどの開催が予定されており、今後の展開が楽しみです。

広報さやまへのご意見・ご感想は
はがき・メール・FAXで広報課へ



〒350-1380
狭山市入間川1丁目23番5号



koho@city.sayama.saitama.jp



TEL 04-2953-1111
FAX 04-2953-1117



公式ホームページ



公式フェイスブック



公式ツイッター



狭山市LINE公式アカウント
ID:@citysayama

